

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所コンパス さがみ野教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月 13日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2026年1月 6日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別性を重視した専門的支援	面談を通じて子どもの特性や家庭のニーズを丁寧に把握 具体性の高い個別支援計画を作成し、実施後に振り返りを行う 支援の根拠や意図を保護者に説明することを大切にしている	発達段階の評価や見立てについて、より分かりやすい説明資料を整備 専門職間のケース共有を強化し、支援の質を継続的に向上 卒業後の進路を見据えた長期的視点での支援設計を強化
2	保護者との協働とペアレント・トレーニングの実施	日々の様子を丁寧に共有し、家庭と同じ方向を向いて支援 定期的な面談で不安や課題を整理 ペアレント・トレーニングを実施し、家庭での関わり方を具体的に支援	ペアレント・トレーニングの開催形式(曜日・時間・オンライン)を柔軟化 進路・就学・放課後支援に関する情報提供機会の充実 保護者同士が学び合える機会の検討
3	安心して通所できる環境と高い満足度	子どもが見通しを持ちやすい構造化された環境づくり 共感的な関わりを大切にし、心理的安全性を重視 安全管理マニュアルの整備と定期的な確認	設備点検・修繕の迅速化 防災・感染症対応訓練の「見える化」 活動プログラムの多様化と目的の明確化

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の参加しやすさに課題がある (ペアレント・トレーニングや保護者交流の参加機会)	開催曜日・時間が固定されているため、参加が難しいご家庭がある 就労やきょうだい対応など、家庭の事情により参加ハードルが高い 情報提供は行っているが、必要性や効果が十分に伝わっていない可能性	ペアレント・トレーニングの曜日・時間帯の見直し オンライン併用など柔軟な開催形式の導入 保護者同士が情報交換できる機会の検討
2	非常時対応や訓練の「見える化」が十分でない (実施しているが、保護者への伝達が十分でない)	訓練や点検は実施しているが、保護者への発信が十分でない マニュアル整備が内部向け中心になっている 設備修繕の優先順位判断に時間を要している	訓練実施状況の定期発信 安全対策の分かりやすい資料化 設備点検・修繕の迅速化体制の強化
3	活動プログラムの固定化に見える点	安心感や見通しを重視する構造化支援が、ルーティンに見える可能性 活動の意図や発達のねらいが十分に共有できていない 新規活動導入に慎重になりすぎている面がある	活動のねらいをより明確に発信 バリエーションの拡充 子どもの成長段階に応じた柔軟なプログラム設計